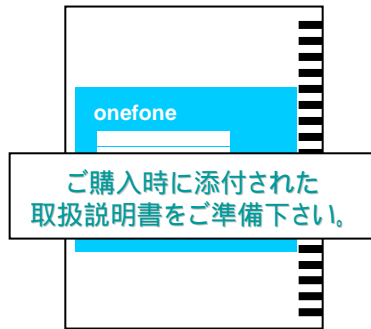
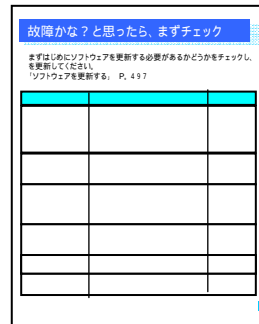


< 基本操作編 >

基本的な操作方法については、NTTドコモ社製「onefone™」(以下、「onefone」という)をご購入時に添付されている取扱説明書 P423 ~ をよくお読みのうえご利用願います。



「onefone」を利用して困った場合は取扱説明書479ページ以降をご確認下さい。



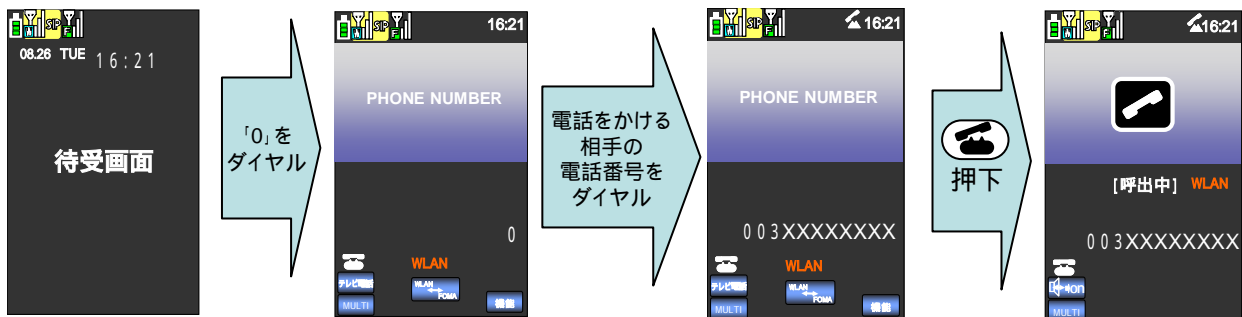
外線への発信方法

< 外線発信 >

本システムから外線発信できます。

1. 「onefone」本体の数字ボタンの「0」を最初にダイヤルする。
2. 電話をかける相手の電話番号をダイヤルし、を押す。

電話をかける相手の呼び出しを開始いたします。

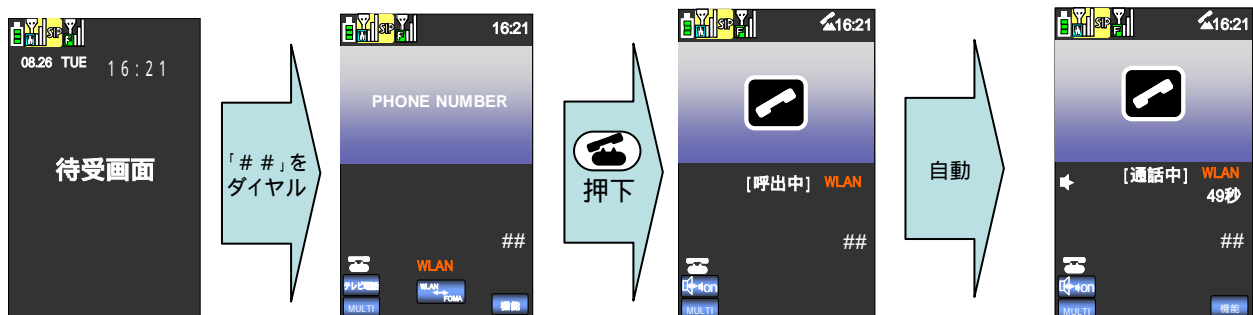


他の内線電話機にかかってきた着信に応答する

< 代理応答 >

他の内線電話機にかかってきた着信に応答することができます。

1. 「onefone」本体の数字ボタンの「# #」をダイヤルし、を押す。



< 保留操作編 >

保留方法

< 通話中保留 >

通話中の通話を保留することができます。

1. 通話中に **CLR** を押す。

相手に保留音が流れます。
保留中に相手が電話を切った場合は、通話が切れます。

2. 電話に出られる状態になったら **CLR** を押す。

元の通話に戻り、再度お話しすることができます。



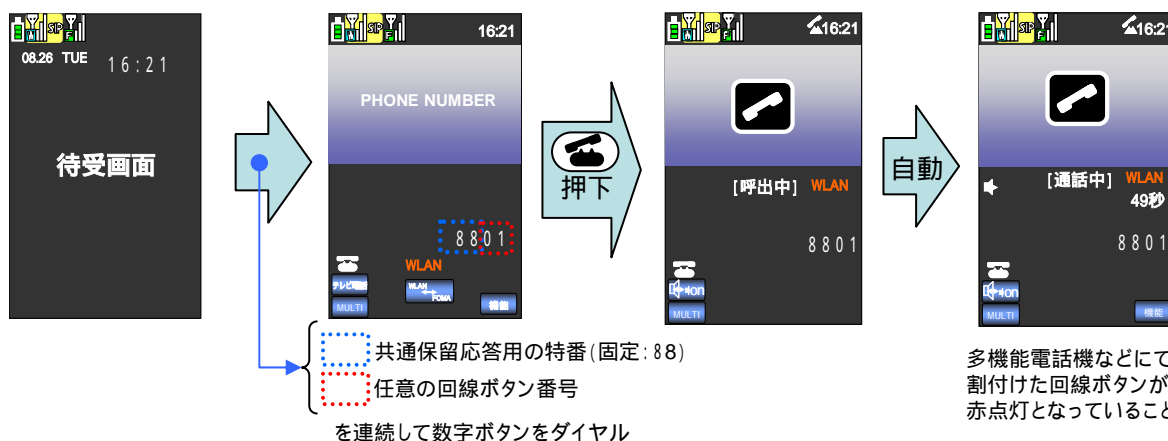
共通保留された通話を解除する

< 共通保留応答 >

システム内で共有した共通保留を解除します。

注：本商品では「onefone」から共通保留は行えません。

1. **共通保留応答用の特番(88):解除時** + **回線ボタン番号(01~18)** の数字ボタンをダイヤルし、 を押す。



回線ボタン番号	登録電話番号	回線ボタン番号	登録電話番号

注 回線ボタン配置パターンについて、同一システム内 同一グループ内では多機能電話機とSIP端末を同じ設定にしてください。(RACSIA取扱説明書 応用編P.94)

保留転送方法

< オンフック転送 (通話中転送) >

通話中の通話を保留し、システム内の電話機 (内線) や他の電話番号に転送することができます。

1. 通話中に **CLR** を押す。
2. ディスプレイに **[保留中]** と表示されていることを確認。
3. 転送したい内線番号、または「0」+外線番号をダイヤルし、**(☎)** を押す。
4. 転送した相手先が通話できる状態で **(☎)** を押す。 < 転送終了 >

相手先が話中または、不在等で保留した通話に戻る場合は、**CLR** を押して下さい。

外線との通話を別の外線に転送する場合は、RACSIAにて別途設定が必要です。(RACSIA取扱説明書 応用編P.79)



他の内線電話機に転送する場合: 「転送したい内線番号 (2桁)」
別の外線に転送する場合: 「0」+「転送したい外線番号」

上記は外線との通話を他の内線電話機に転送する例です。

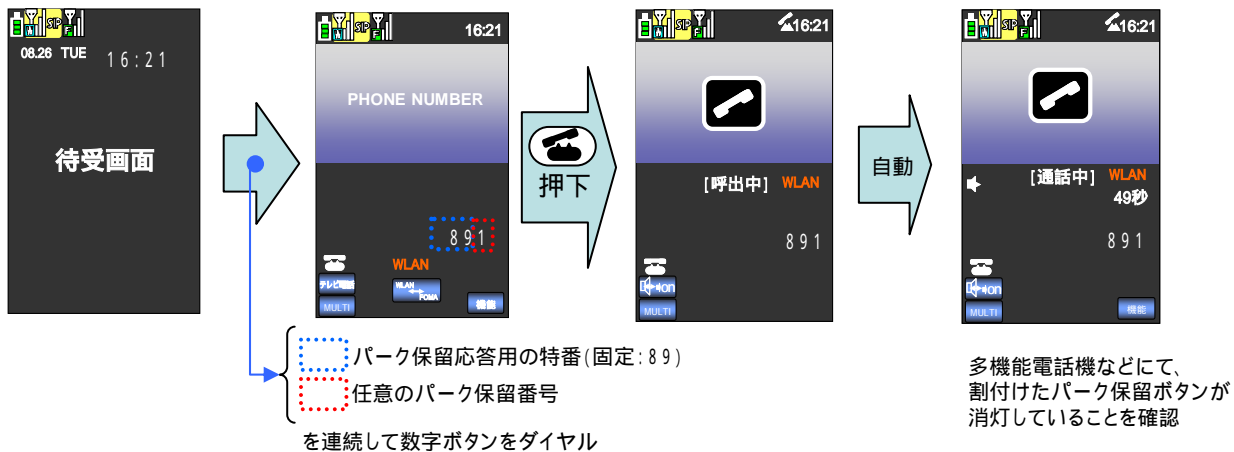
パーク保留された通話を解除する

< パーク保留応答 >

システム内で共有したパーク保留を解除します。

注: 本商品では「onefone」からパーク保留は行えません。


1. **パーク保留応答用の特番(89):解除時** + **パーク保留番号(1~9)** の数字ボタンをダイヤルし、**(☎)** を押す。
RACSIA取扱説明書 応用編P.76、94をご参照下さい。



「onefone」内線コードレス利用の注意事項

< WLANモードでご利用時の注意事項 >

「onefone」からの発信時、WLANのサービスエリア内においても「110」「112」「118」「119」「000」「08」「911」「999」等の番号については、必ずFOMAネットワークへの発信となります。「onefone」にて保留した通話を転送する場合は、ディスプレイ画面の状態が保留中であることを確認してから転送操作して下さい。WLANのサービスエリア外にいる「onefone」へ転送する場合は、直接外線転送を実施するか、「onefone」への「圏外転送」の設定が必要になります。保留転送時、転送先ダイヤルの後に#をつけても即時発信となりません。

を押して発信してください。WLANモードで利用する場合、「ドライブモード」「非通知着信拒否」「電話帳登録外着信拒否」等の「着信拒否」の設定をしないでご利用下さい。動作中(着信・発信・保留・内線通話など)にWLANのサービスエリア外に出た場合、動作中の機能などに支障をきたす場合がございます。WLANのサービスエリア内をご利用願います。

< RACSIA主装置の注意事項 >

「onefone」のプレゼンス機能、メッセージ機能はご利用する事ができません。「onefone」から他の内線電話機へ非通知発信はできません。「onefone」では呼出状態転送機能(1)はご利用できません。他の電話機で操作した共通保留、パーク保留に対して「onefone」で応答することはできません。「onefone」から共通保留やパーク保留することはできません。「onefone」を内線コードレスとして利用し、WLANサービスエリア外にいるときもFOMAネットワーク経由で着信したい場合は、RACSIA主装置にて圏外転送の設定が必要となります(RACSIA取扱説明書 応用編 P.75)。「onefone」でパーク保留に応答する場合は、RACSIA主装置にパーク保留の設定を行う必要があります。(RACSIA取扱説明書 応用編 P.76、94)

- 1 通話を一度保留して、転送先の相手呼び出し、相手が応答する前に転送する機能です。

「FOMA」、「onefone」は株式会社NTTドコモの登録商標または商標です。